

いちみやの芸術文化

□ 特集 「没後百五十年 墨八百八秋隆—『記録』の世界—」

□ 「エッセイ」

デザイン・工芸・彫塑部門
—宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部

真下 賢一

□ 「活 動」

吟剣詩舞部門
曾山流樹徳吟詠会 山瑩会

江崎 敦子

□ 「一宮市芸術祭」のご案内

□ これからの催し

□ 県文連西尾張部芸能大会

□ 文化講演会「羽田圭介」



2017.9

第42号

墨八百八秋隆

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

没後百五十年

墨八百八秋隆

『記録』の世界

江戸時代後期に、北方代官所支配の村々で、もめごと、争いごとがあれば、その仲介人として、日夜奔走して一人の人物がいました。その人の名を墨八百八秋隆（表紙）（以下「八百八」といいます）。

八百八は、寛政二年（一七九〇）に尾張国葉栗郡玉ノ井村西屋敷（現一宮市木曾川町玉ノ井）の村方頭百姓・墨林左衛門の三男として生まれましたが、林左衛門の兄八百八に嗣子がいなかったため養子となり、八百八秋隆を名乗ります。幼少の頃に黒田村の剣光寺の住職に学問を学び、その後、本居春庭（本居官長の実子）に国学を、笠松の角田錦江に漢学・詩文の手ほどきを受け、教養を高めたといえます。

八百八は、文化六年（一八〇九）に弱冠二十歳にして、北方代官所支配所の

公事出入取贖人（調停人）となり、文久三年（一八六三）に退役するまでの五十年以上にわたり、紛争当事者の間に入って和解させる調停人として、約千件のもめごと、争いごとを解決してきました。八百八は、その解決した一件一件について詳細な記録『取贖留』として五冊にわたり書き留めていました。その内容は、土地や金の貸借、相続、暴力、村役、普請、祭礼など、多岐にわたっています。

ところで、筆まめであった八百八は亡くなる前年の慶応二（一八六八）年八月まで、八百八自身の事だけでなく、村方、政治関係あるいは風聞など約三百五十件を『記録』として三冊残しています。今日では三冊の内二冊が散逸し、天保二（一八三二）年から嘉永三年（一八五〇）までの『記録』一冊のみが残されています。

その『記録』から挿絵とともに、面白い記事を現代の雑誌調に二点ご紹介いたします。

号外

天保四年（一八三三）七月七日

熱田にマタちゃん!!



近年、世間を騒がせていた多摩川のたまちゃん、荒川の志木あらちゃん、湖山川のコヤちゃんとアザラシ人氣は止まりませんが、尾張国でもアザラシが現われ、老若男女を問わず人気者になっていました。

現れたのは、尾張国熱田新田（現名古屋南区）です。熱田前新田は名古屋港に接しており、伊勢湾から海流にのって迷いこんできたようです。地元では現われた場所の新田名「又兵衛新田」から名前をとって「マタちゃん」と呼ばれていました。しかし、七月八日に日置（名古屋市中区・中川区）の漁師によって捕獲されてしまい、芸をするように調教されて、八月十四日に見世物に登場しましたが、八月十七日の夜に亡くなってしまったとのこと。

号外 天保三年(一八三二)三月

「怪奇」石塔磨き現る!



▲権吉さん方の石塔
黄色く塗られている部分が石塔磨きによって磨かれた部分

天保二(一八三二)年春頃から、江戸より東の国々で石塔ばかりを磨く何者かが現われました。ある人が言うには「その何者かは、石塔の朱字、黒字の部分を磨いているんですよ」と。最近では、この尾張国辺りにもその「何者か」が現われるようになりました。天保三年三月朔日の夜、尾張国玉ノ井村の権吉さん方の石塔が何者かによって磨かれました。また三月三日の夜には、仙右衛門さん方の石塔も何者かに

よって磨かれるという怪奇な事件が発生しました。この近辺に現われた「何者か」は、江戸に現われた朱字、黒字を磨く「何者か」とは異なり、怪奇なことに、朱字の部分だけを磨き立ち去ったようです。

代官所の役人によりますと、その犯人は捕まっていないようです。

また聞くとところによりますと、熱田神宮の宮司の家に伝わる土佐という人が著わした書物には、いつの頃のかはわかりませんが、石塔磨きの図が何故か描かれているようです。



右：仙右衛門さん方の石塔 黄色く塗られている部分が石塔磨きによって磨かれた部分
左：熱田の土佐という人が書いた書物に描かれている石塔磨きの図

如何でしたでしょうか。八百八が書き留めた『記録』から、皆の人気者「マタちゃん」と、怪奇な事件「石塔磨き」を紹介しました。実際に、これらの『記録』は八百八自身が見聞きし書き留めたものです。八百八の見聞の広さがわかります。

江戸時代の人も、現代の私たちも、その関心はいつの時代においても変わらないものです。また本文で紹介しました『記録』は、写本『玉ノ井墨氏記録』(一宮市史資料)として、一宮市立中央図書館で閲覧できます。是非、手にとってご覧ください。

一宮市博物館 学芸員 石黒智教

◇参考文献

- 小川一朗『北方代官所「御用引請人」の在り方―尾州葉栗郡玉ノ井村墨八百八の場合―』(私家版、二〇〇四年)
- 武藤真「名古屋のママちゃん―江戸時代のアザラシ騒動顛末記」(開館三十周年記念特別展「大にぎわい城下町名古屋」名古屋博物館編、二〇〇七年)所収。

【謝辞】

本文で紹介しました『記録』は、墨家文書の一部です。墨家文書は、平成二十五年に一宮市博物館に寄贈されました。貴重な文書を寄贈して頂きました墨家には末筆ながら記して深謝申し上げます。

公共空間への彫刻

デザイン・工芸・彫塑部門
一宮美術作家協会／デザイン工芸部 彫塑部

真下 賢一

公共空間への彫刻のあり方と、作家と社会との関わりを念頭に、制作を続けている。

公共空間とは、わが国では古く神社仏閣の境内などにそのサンプルを見出すこともできるが、今日の公共空間は住民共有の財産という概念は、明治以降の欧化政



弘前駅前モールの作品「ハーヴェスト」



白石スパッシュランドパークの作品「コンポジション」

策のもと、都市空間の整備に伴い普及した。その公共空間を舞台とする彫刻は、必然的にそれぞれの時代を反映してきた。宗教的偶像として、政治的イデオロギーの象徴として……。そして、念願だった表現の自由が叶った現代、多様化した芸術の命題は、難解さも内

包し、かえって周囲に見え辛くなった部分もあるように感じる。

それでも、現代の公共空間における彫刻から時代性・社会性が消失したわけではない。今日の民主的（大衆的）社会を象徴する要請として、「精神的豊かな生活」という価値観が広まるにつれ、景観形成に携わる者は公共空間において無数の実験を施すチャンスを得てきた。しかし事例は増えたものの、公共空間を単なる野外美術館のように捉え、そこに作品を点在させるといった文化啓蒙型の手法では、彫刻を含めた景観の不整合や地域の独自性の放棄を簡単に招いてしまつていくことを、提供側は常に留意していかなければならない。景観形成は、構想時から、視覚的開発のみに偏ることなく、出来上がった空間がその後いかに呼吸していきけるかの見極めこそ大切である。

その具現化の手立てとして、様々な立場の人たちが参画するシンポジウムやプロジェクトが有効に機能していく必要を強く感じる。

シンポジウムでは、信頼し尊敬し合える対等な関係性を前提に、皆が自身の経験や知識を持ち寄り、状況に即して柔軟に教師にも生徒

にも立場を変えられる自律的運動体の構築が期待できる。

また、プロジェクトでは、その規模が大きくなればなるほど、共同作業による粘り強く膨大なエネルギーが不可欠となるが、我々現代人は、日常的に社会と密接に関連を持ちつつ生活している以上、人間の一生は常に共同作業による経験の積み重ねの上にあると云つてよく、例えば精神的孤高性を強く主張する「芸術家」のみに例外が認められるはずもない。作家個人の制作における命題の追求と、その真摯な態度を共同作業の中において発揮させる意義は、矛盾することなく融合し得ると信じる。



「大蔵山ワークキャンプ」での協働制作作品

詩吟で人生を心豊かに

吟剣詩舞部門
會山流樹徳吟詠会 山瑩会 江崎 敦子 (會雪)



錬成会本部会長挨拶 (平成28年)

我は研す道統の一雄風
酷暑極寒吟は空に満つ
説くを休めよ区区たる音節の美
詩心畢竟至誠の中
声高らかに会詩の合吟で始まる
吟詠の会。
山瑩会は名古屋市の本部がある
會山流樹徳吟詠会に属し、河合柳
瑩先生を本部長として平成十年
に発足しました。現在、名古屋市、



會山流樹徳吟詠会30周年記念大会 (平成28年)

一宮市、滋賀県で四支部二十三吟
詩会、会員は百余名を有し、一宮
市起の山瑩会教室を拠点に、熱心
に吟詠の研鑽に努めております。
会の行事には年四回の錬成会の
ほか、本部主催の各種研修会、競
吟大会、記念大会等があり、皆積
極的に参加し、吟力の向上と会員
相互の親睦を図っております。
河合柳瑩先生は大輪の牡丹にも
似た華やかな美しさで人々を魅了

し、会の発展に向け
て大きな理想のもと、
情熱を持って取り組
まれております。

漢詩は中国三千年
の悠久の歴史に育ま
れ東洋文化の粋とも
いわれております。
漢詩に日本的な旋律
をつけて歌う吟詠は
江戸時代末期ごろか
ら行われ、長い歴史
に培われた伝統芸能
です。

吟を学ぶことは腹
式呼吸による発声の
ため、長寿や健康の
保持に繋げるとも
に、礼節を身につけ
歴史を学ぶ機会にもなっております。
また、和服を着用する機会が
増え、日本の文化を再認識し、姿
勢の良さにも繋がっております。
最大の課題は吟詠がマスコミ等
で取り上げられる機会が少ない等
の為か、若年層の加入が少なく、
会員の高齢化が進むことです。
今後、吟詠をより知っていたた
き関心を深めていただく為に、
地域等での活動を積極的にを行い、



會山祭で全員集合 (平成29年)

より魅力と活力に満ちた山瑩会に
することが必要と考えます。
山瑩会は二〇二〇年の東京オリ
ンピックの年に第三回記念大会を
盛大に開催する予定で、既に構想
等体制が整えられつつあります。
會山流の流是「自らには嚴格た
れ、而して他には寛大たれ」を常
に念頭に、吟詠をより研鑽し、詩
吟で人生を心豊かに過ごしたいと
念じております。

第72回 一宮市芸術祭

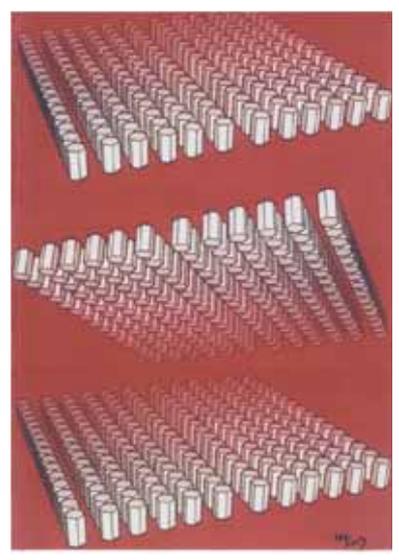
開催期間
2017年9月～12月

今年の「一宮市芸術祭」は次のとおり開催されます。ぜひお出掛けください。

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
2017 一宮美術作家協会展	9月2日(土) ～17日(日) (4日・11日を除く)	AM9:30～PM5:00 (17日はPM4:30まで)	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮美術作家協会
第19回 能狂言面作品展	9月2日(土) ～3日(日)	AM10:00～PM4:30 (3日はAM9:00～ PM4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西面打会
楽しく描こう会 水彩画展	9月5日(火) ～10日(日)	AM9:00～PM5:00 (5日はPM1:00～、 10日はPM4:00まで)			楽しく描こう会
第14回 尾西展	9月13日(水) ～18日(月・祝)	AM9:00～PM5:00 (18日はPM4:00まで)			尾西美術連合
第28回 手つむぎ・染め・織り展	9月20日(水) ～24日(日)	AM10:00～PM6:00 (24日はPM4:00まで)			尾張もめん伝承会
一宮写真協会 選抜写真展	9月21日(木) ～10月1日(日) (25日を除く)	AM9:30～PM5:00	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮写真協会
第53回 麗筆会展	9月22日(金) ～24日(日)	AM10:00～PM5:00 (24日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	麗筆会
土筆の会展	10月5日(木) ～8日(日)	AM9:00～PM5:00 (5日はAM10:00～、 8日はPM4:30まで)			土筆の会
第17回 山ぶどうの会展	AM9:30～PM5:00 (8日はPM4:00まで)	山ぶどうの会			
市民茶会	10月8日(日)	AM10:00～PM3:00	真清田神社	1,800円	一宮茶道協会
尾西ウィンドオーケストラ 第81回定期演奏会		PM2:00～PM4:00	尾西市民会館	入場無料	尾西ウィンドオーケストラ
尾西俳句大会	10月9日(月・祝)	PM1:00～PM5:00	尾西生涯 学習センター	500円	尾西俳句会
花畑スケッチブック展	10月12日(木) ～25日(水) (15日・22日を除く)	AM10:00～PM4:30 (25日はAM11:00まで)	ふれあいセンター たくみ	入場無料	花畑
狂俳大会	10月14日(土)	PM1:00～PM5:00	葉栗公民館	500円	一宮狂俳壇連盟
一宮シティ合奏団 第24回定期演奏会	10月15日(日)	PM2:00～PM4:00	尾西市民会館		一宮シティ合奏団
第19回 一宮市民音楽会	10月22日(日)	PM1:30～PM3:30	木曾川文化会館	入場無料 (要整理券)	一宮第九をうたう会
第13回 あざみの会 絵画展	10月26日(木) ～29日(日)	AM9:30～PM5:00 (26日はPM1:00～、 29日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	あざみの会
ゆずの会作品展					ゆずの会
いちのみや文芸2017 発刊	10月28日(土)	1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集			
文化講演会		PM1:30～PM3:00	尾西市民会館	入場無料 (要入場整理券)	講師：羽田 圭介さん (小説家)

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
秋季謡曲大会	10月29日(日)	AM9:30~PM4:30	尾西生涯 学習センター	入場無料	一宮謡曲同好会
一宮吟剣詩舞道大会	11月3日(金祝)	AM9:20~PM4:30	一宮スポーツ 文化センター		一宮吟剣詩舞協会
俳句大会	11月3日(金祝)	AM11:00~PM4:30		500円	一宮俳句協会
第72回 一宮市民華道展	11月4日(土) ~5日(日)	AM10:00~PM4:00 (5日はPM3:30まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	一宮華道連盟
一宮現代詩祭		PM1:00~PM4:00			一宮現代詩協会
第45回一宮音楽家協会 定期演奏会	11月5日(日)	PM2:00~PM4:00	尾西市民会館	500円	一宮音楽家協会
第33回一面会 能・狂言面作品展	11月10日(金) ~12日(日)	AM10:00~PM6:00 (10日はPM0:00~、 12日はPM4:00まで)	アイブラザー宮	入場無料	一面会
一宮茶道連盟茶会	11月12日(日)	AM9:00~PM3:00	妙興寺	8,000円	一宮茶道連盟
市民短歌大会		PM1:00~PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	500円	真清短歌会
第19回桃墨会展	11月14日(火) ~19日(日)	AM9:00~PM5:00 (14日はPM1:00~、 19日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		桃墨会
第11回 パレット水彩画展		AM10:00~PM5:00 (14日はPM0:00~、 19日はPM4:00まで)			パレット会
尾西華道展・お茶会	11月18日(土) ~19日(日)	AM10:00~PM4:00 (お茶会はPM3:00まで)	尾西市民会館		尾西華道展・お茶会 実行委員会
尾西芸能祭		PM0:00~PM3:00			尾西芸能祭実行委員会
水絵の会展	11月21日(火) ~26日(日) (24日を除く)	AM9:00~PM5:00 (21日はPM1:00~、 26日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		水絵の会
一宮三曲協会 定期演奏会	11月23日(木祝)	AM10:30~PM4:30	木曾川文化会館	入場無料	一宮三曲協会
第7回 雅楽フェスティバル		PM1:30~PM3:30	一宮市民会館		特定非営利活動法人 旭雅楽会
第63回中部日本書道会 一宮支部展	11月25日(土) ~26日(日)	AM10:00~PM4:00 (25日はPM1:00~)	一宮スポーツ 文化センター		公益社団法人 中部日本書道会一宮支部
第46回中部日本書道会 一宮支部学生書道展					
曾山流樹徳吟詠会 山瑩会錬成会	11月26日(日)	AM9:00~PM4:00	尾西商工会館		山瑩会
一宮合唱祭		PM0:30~PM4:30	尾西市民会館		一宮合唱協会
ガリバンバン 水彩画展	11月28日(火) ~12月3日(日)	AM9:00~PM5:00 (28日はPM1:00~、 3日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		尾西ガリバンバンの会
一宮市民吹奏楽団 第42回定期演奏会	12月3日(日)	PM1:30~PM3:30	一宮市民会館	前売400円 当日500円	一宮市民吹奏楽団
第15回 尾西作家協会展	12月5日(火) ~10日(日)	AM9:00~PM5:00 (5日はPM1:00~、 10日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西作家協会
クリスマスコンサート	12月17日(日)	PM2:00~PM4:00	尾西市民会館		安美&コンプリオ

文化情報



「群れ」 江村 亨

《市および市内公共施設の催し予定》

※一宮市博物館・三岸節子記念美術館
・尾西歴史民俗資料館について

○入館は午後4時30分まで
○月曜休館(月曜日が休日の場合は開館)、休日の翌日休館

一宮市博物館
☎(46)3215

企画展「一宮写真協会選抜写真展」

日時 ● 9月21日(木)～10月1日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 感性に裏打ちされた表現力で、熱い思いを込めた写真作品を展示します。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料(以下同じ)

特別展「没後60年 川合玉堂」

日時 ● 10月14日(土)～11月26日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 一宮市木曾川町出身の日本画家・川合玉堂の没後60年を記念し、一宮市博物館と玉堂記念木曾川図書館で、その画業を紹介します。

観覧料 ● 一般 500円

高大生 300円

小中生 200円

※玉堂記念木曾川図書館は観覧料無料

企画展「2017 一宮市現代作家美術秀選展」

※市内小中学生・65歳以上無料

日時 ● 12月2日(土)～17日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 第75回一宮市美術展市長賞受賞者・依頼出品者、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示します。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

三岸節子記念美術館
☎(63)2892

特別展「名品と出会うー企業コレクションによる日本近代洋画展」

日時 ● 9月23日(祝)～11月12日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● (公社)糖業協会が所蔵する珠玉のコレクションによる展覧会です。日本近代の洋画家たちの美意識をお楽しみください。

観覧料 ● 一般 800円

高大生 400円

小中生 200円

※市内小中学生・65歳以上無料

常設展「三岸節子 ヨーロッパへのござなご」

定員 ● 33名

内容 ● 岐阜県に残る美濃路の史跡を見学します。

日時 ● 9月23日(祝)～1月14日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 三岸節子がアトリエを構えたフランスや旅先で描いた風景画のほか、渡欧以前の作品も展示します。

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

※市内小中学生・65歳以上無料

※特別展会期中は特別展観覧料に含む

尾西歴史民俗資料館
☎(62)9711

特別展「美濃路四川」

日時 ● 10月14日(土)～11月19日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 美濃路の道中にある四つの渡船場の歴史を紹介します。観覧料 ● 無料

歴史講座「美濃路探訪 秋～美濃偏」

日時 ● 10月29日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 岐阜県に残る美濃路の史跡を見学します。

※要参加費・要申込み。詳しくは
広報9月号を参照。

第17回もみじまつり

日時 11月18日(土)・19日(日)

午前10時～午後3時30分

(お茶会は3時まで)

内容 旧林家住宅を会場にお茶会

や山野草展、箏の演奏など

を2日間にわたり催します。

入場料 無料(お茶会は300円)

子ども講座「起土人形に

絵付けをしよう!

日時 12月3日(日)

午前10時～11時30分

内容 来年の干支に絵付けをしま

す。

定員 20名程度

※要参加費・要申込み。詳しくは

広報11月号を参照。

歴史講座

「古文書で読む日本の大事件」

日時 12月10日(日)・17日(日)

午後1時30分～3時

内容 映画やドラマではなく、古

文書から歴史の重大事件の内

容に迫ります。

定員 35名

※要参加費・要申込み。詳しくは
広報11月号を参照。

一宮市観光協会

☎(28)9131

「第34回木曾川町一豊まつり」

日時 9月17日(日)

午前10時～午後5時

内容 戦国衣装に身を包んだ山内

一豊公とその妻・お千代様

を中心にした戦国時代パレ

ードをはじめ、各種イベン

トを行います。

会場 黒田小学校他

入場料 無料(以下同じ)

「素人チンドン祭り」

日時 10月15日(日)

午前9時～午後4時

内容 アマチュアが参加するチン

ドンコンクールやパレード、

太鼓や大道芸のショーを行

います。

会場 萩原商店街

「第29回びさいまつり」

日時 10月21日(土)・22日(日)

午前9時30分～午後4時

内容 十二単を着た織姫・童女が

輦台に担がれて登場する
「織姫パレード」などが行
われます。

会場 尾西庁舎周辺

「第41回一宮菊花大会」

日時 11月2日(木)～8日(水)

午前9時30分～午後5時

(2日は午前10時から)

内容 菊の愛好家が丹精こめて作

り上げた成果を一堂に展示

します。

会場 国営木曾三川公園138タ

ワーパーク

市生涯学習課

☎(85)7074

「2017市民大学公開講座」

日時 前期 10月4日～25日の毎

週水曜日

後期 11月1日～22日の毎

週水曜日

午前10時～11時30分

内容 前期「豊かな暮らしのため

に」、後期「脳と老化」をテ

ーマに、修文大学・修文大

学短期大学の講師達によ

るそれぞれの特徴を生かし

た公開講座を行います。

会場 修文大学・修文大学短期大
学部 吉田記念館7階大会
議室

対象 一般成人(一宮市周辺在住

者)

定員 前・後期 各100人(託児

定員15名)

受講料 無料

申込み 前期は9月20日(水)、後期

は10月18日(水)までに生涯

学習課へ連絡



「瀟聲會作詩教室」

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時 9月5日(火)・10月3日(火)

11月7日(火)・12月5日(火)

午前10時～

会場 中央図書館

内容 漢詩文の作り方の指導をは

じめ、持ち寄った創作詩の

添削の検討を会員間で行います。(初心者歓迎)
参加料▼年3、000円
申込み▼当日直接会場

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼9月9日(土)・11月11日(土)

12月9日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼9月10日(日)・10月8日(日)

12月10日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『瀟聲會定例会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼9月23日(土)・10月28日(土)
11月25日(土) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての「首」を解説します。(初心者歓迎)

も分かりやすく「唐詩三百首」を解説します。(初心者歓迎)

講師▼三島徹氏(東洋文化振興会会長)

参加料▼月2、000円

申込み▼当日直接会場

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時▼9月24日(日)・10月22日(日)

11月26日(日)・12月17日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。(初心者歓迎)

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)3479

日時▼9月24日(日)・10月22日(日)

11月26日(日)・12月17日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。(初心者歓迎)

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

日時▼9月24日(日)・10月22日(日)

11月26日(日)・12月17日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。(初心者歓迎)

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

【秋の市民俳句吟行会】

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時▼10月20日(金) 午前9時〜

11月20日(金) 午前9時〜

行先▼美濃和紙の里会館(美濃市) 定員▼35人(定員を超えた場合は抽選)

対象▼どなたでも

参加料▼500円(昼食は持参、または道の駅で購入可)

申込み▼9月19日(火)までに事務局へ連絡☎(85)7075

※当日、句会も行います。

【馬場獅子屋形打囃子保存会 秋祭】

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月22日(日) 午後1時〜

会場▼熱田社(千秋町加納馬場)他

内容▼道行打囃子を演奏しながら獅子屋形を曳き回します。

【重吉甘酒祭保存会 甘酒祭】

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月29日(日) 午後2時〜

会場▼八幡神社(丹陽町重吉)

内容▼神前に甘酒と強飯を供え、お神楽を奉納します。甘酒と強飯は参拝者に振るまわれます。

【一宮市芸術文化活動振興交付金事業 グループ絵ごころ三美会 10周年記念展】

【問合せ先 グループ絵ごころ三美会】

☎(62)7843

日時▼11月15日(水)〜19日(日)

午前9時〜午後5時(19日は午後4時まで)

会場▼三岸節子記念美術館
内容▼団体設立10周年の記念に、会員達の力作を展示します。

入場料▼無料

【一宮市芸術文化活動振興交付金事業 イエローオーカー 絵画展】

【問合せ先 イエローオーカー】

☎(68)5558

日時▼10月22日(日) 午後1時〜

会場▼熱田社(千秋町加納馬場)他

内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。(初心者歓迎)

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

日時▼12月19日(火)～24日(日)

午前9時～午後5時(19日
は午後1時から、24日は午
後4時まで)

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼団体設立10周年の記念に、

会員達の力作を展示します。

入場料▼無料

《県文化協会連合会の催し》

「第42回愛知県文連美術展」

会期▼9月27日(水)～10月1日(日)

午前10時～午後6時
(29日は午後8時まで、1日
は午後4時まで)

会場▼愛知県美術館ギャラリー

入場料▼500円(前売400円)

高校生以下無料

※生涯学習課で前売りしています。

「愛知県民茶会」

期日▼10月15日(日)

午前10時～午後3時

会場▼東郷町総合体育館

茶券▼前売券800円(2席)

当日券500円(1席)

※生涯学習課で前売りしています。

「(新生)一宮市芸術文化協会10周年記念

西尾張部芸能大会

期日▼12月10日(日)

午後1時15分～(開演予定)

会場▼一宮市民会館

入場料▼無料

内容▼一宮市芸術文化協会をはじめ、愛知県文化協会連合会
西尾張部の10文化協会所属
団体による芸能発表会です。

当協会出演団体▼舞踊部門

一宮舞踊協会

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月の前々月15日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項 ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先 〒491-8501 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-73-9213

第75回

一宮市美術展

開催要項

【会期】11月16日(木)～19日(日)

午前9時30分～午後5時(金曜日は7時・最終日は4時30分)

【会場】一宮スポーツ文化センター

(一宮市真清田1-1-2-30)

【募集種目】日本画/洋画/彫刻・

立体/工芸/デザイン/書/写真

【主催】一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】11月11日(土)・12日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品規定】1種目につき1人1点

とし、他の公募展・コンクールに未発表の作品に限る。中学校卒業以上の年齢の者で、市内市外は問わない。

【出品料】無料

【規格】

【日本画】20号以上100号以内で額入り。ヒートン及び吊ひも(又は針金)を取り付けておくこと。

【洋画】20号以上150号以内で額入り。版画は4号以上で額入り。

ヒートン及び吊ひも(又は針金)を取り付けておくこと。(CG作品は不可)

彫刻・立体▼制限なし。(安定して展示できる作品)

工芸▼制限なし。壁面展示の作品にはヒートン及び吊ひも(又は針金)を取り付けておくこと。

デザイン▼A2サイズ以上B1サイズ以下でパネル張り。小型はパネルに構成。ポスターフレーム可(ポスター・イラスト・CG等表現自由)ヒートン及び吊ひも(又は針金)を取り付けておくこと。

書▼仕上がり寸法は91cm×91cm(3尺×3尺)又は半切以上176cm×48cm以下。縦横自由。

枠張り又は額装。篆刻は二印以内で印影のみとし、縦39cm×横30cmとする。刻字は1㎡以内とする。規定の用紙に墨書(パソコン可による釈文を添付すること)。

写真▼全紙(長辺50cm以上)以上でパネル張り。(木製パネルに限る)額不可。ただし、組写真は半切以上2枚以内。(作品裏面で固定すること)

【作品搬出】11月19日(日)午後5時～7時 ※予備日11月21日(火)午前9時30分～11時30分

【問い合わせ先】一宮市教育委員会生涯学習課 文化グループ
☎(05866)8517075

平成29年度

(新生)一宮市芸術文化協会10周年記念

愛知県文化協会連合会 西尾張部芸能大会



12月10日

開場 11時50分
式典 12時20分
開演 13時15分

一宮市民会館ホール

入場無料

 呈茶席 1席300円

西尾張10市町村の文化協会所属団体の代表が一同に会して、日頃の練習の成果を披露します。

◆主催 愛知県文化協会連合会・一宮市芸術文化協会

平成29年度

文化講演会

不寛容にならないための読書

講師(小説家)

は だ けい すけ
羽田圭介さん

整理券

※入場無料ですが、整理券が必要です。(満席の場合は、入場をお断りすることがあります)
整理券は10月5日(木)より本庁舎4階生涯学習課、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曾川事務所総務窓口課(木曾川庁舎)、各出張所、中央・玉堂記念木曾川図書館、一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

10月28日

13:30~15:00(開場は30分前)

一宮市尾西市民会館

(一宮市東五城字大平裏43-1)



©ミュージカル「スコア」

お問い合わせ先

一宮市芸術文化協会事務局(市生涯学習課内)
☎0586-85-7075(直通)

入場無料

※整理券が必要です
※当日は手話通訳があります

主催/一宮市教育委員会・
一宮市芸術文化協会

[題字] 武山翠屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213